

寿楽苑だより

117号



社会福祉法人 舟見寿楽苑

発行責任者/施設長 高村 敏 明

〒938-0103 富山県下新川郡入善町舟見1664

TEL 0765-78-1935 / FAX 0765-78-1941

e-mail : jurak273@funamijurakuen.jp

http://www.funamijurakuen.jp

舟見寿楽苑

検索

発行/令和 4年 5月 20日

名カメラマンが桜をパチリ

4月10日、青空のなか、入居者様が連れ立って、近くの公園へ桜を見に出かけました。

カメラが趣味だったという入居者様にカメラを渡すと、「一眼レフじゃないさかい、撮れんわ」などと言いながらも、カメラを構えてシャッターをカシャッ。

近くにいる入居者様が目を細め、遠くを眺めるようにしながら、「うちの庭にある桜も、咲いとるかな」。

「きれいな桜を見させてもらたし、やっぱり、外の空気はおいしいね」などと、笑顔のおしゃべりは、いつまでも続いていました。



チューリップ見物で背中もポカポカ



4月17日、入居者様が、ふれあい温泉前にある花壇の、チューリップ見物に行ってきました。

「見っしゃい、チューリップ。赤と白、向こうに黄色も咲いとるぜ」

「誰したがか知らんけど、こんだけきれいに咲かすまで、手入れ大変やったと思うよ」

「昔、うちの子供たちが、チューリップのうた、大声で歌ったが思い出すわ」

外へ出たとき「少し、肌寒いかな」と言っていた入居者様ですが、日光浴をしているうちに「背中ポカポカしてきた。なんて、気持ちいい日ながいる」。

清流を泳ぐ手作り鯉のぼり

4月末から、デイサービス通路に、山間を流れる清流が出現。そこに、たくさん手作り鯉のぼりが、展示されました。

鯉のぼりは計42匹で、利用者様の協力を得て作り上げたもの。

ウロコは模様の異なった紙を半円形に切り取り、それを一枚ずつ丁寧に貼りつけ、目はどれも手書き。

手がけた鯉のぼりが、清流で泳いでいると聞いた利用者様が、見物にやって来ます。

「こんだけの数がまとまると、見ごたえあるね」

「これやったら、本物に負けんくらいやわ」



ひばり野苑

お茶会で、おはぎと抹茶

4月16日、春のお茶会を開き、入居者様におはぎと、本格的な抹茶を召し上がっていただきました。

大画面で桜の映像と、音楽を会場に流す春の演出が、参加した方々には、大好評。

抹茶をいただく前、まずおはぎをパクッ。なかには、食べ終わっても、食べ足りなかったのか、周りをキョロキョロ眺める入居者様も。

「このあんこ、上品な味やし、おいしいわ」

家で作った時のことを思い出したらしく、職員に向かって、「今度、あら、おはぎ作ったちゃ。」



春のハイキング

4月25日、入善フラワーロードと舟見にある谷江の堤へ、春のドライブに行き来しました。

入居者様は、久しぶりの外出のためワクワク感を抑えられないようで、車の中は笑顔がいっぱい。

チューリップ畑が見えて来ると、「あれっ。チューリップ、ちょうど満開やねか」「なんて、きれいながいろ」と弾んだ声。この日は、車から降りチューリップ畑の中へ入って散歩する時間も、設けてありました。

谷江の堤では、満開の桜をバックに記念写真も。



喜楽苑

満開の桜見物



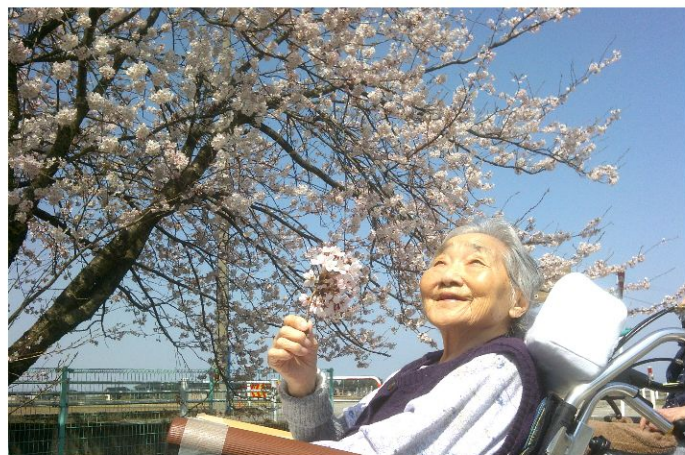
4月11日、朝から晴天のこの日、職員が入居者様に「今日は、いい天気になりましたから、前庭で満開を迎えている桜を見に行きませんか。」

すると、入居者様は、どなたにもこやかな表情に変わり、大きな声で「はいっ。」

「私、去年見られんだから、今年こそ見たいと思っ
とったがよ」

「舟川ベリの桜も咲いたって、ニュースでいうとっ
たし、楽しみやったいぜ」

「風が、ちょっと冷たい気するけど、満開の桜見ら
れるからいいわ」



寒さ対策として、暖かいひざ掛けなどを準備です。
「雪融けて、春の桜見るが、どんだけ待ち遠しかったことか」

木の下まで行って見上げると、まるで桜の木全体を覆うように、ピンク色の桜の花が咲いています。

「きれいやね。春は、やっぱり桜やわ」

「今年の桜、これまで見たなかで、一番のような気がするよ」

その後、一人ずつの記念撮影では、笑顔も満開になって、「はい。ピース。」

ショートステイ

お花見会でリフレッシュ

4月20日、晴れたこの日の午後、職員が利用者様へ「花見に行きませんか」と声を掛けると、「なら、わたし行きたいわ」と、たくさんの方が希望です。

そこで、蜜を避けるため、花見はお一人ずつ順番で行くことに。

「あれ〜っ。なんてきれいながけ。家におっても一人じゃ見に行けんから、連れて来てもらって良かった」「こい近いとこで花見できるがって、思ってもあらなんだ。これから、毎年来にゃならんね」

花見のお陰で、心までリフレッシュできたようです。



ハンドマッサージは、いかが

5月に入り、掲示板にハンドマッサージのポスターを張ると、「これ何け」「いつ、してもえるがけ」と、興味津々の利用者様が、職員に声を掛けてきました。

施術は、セラピスト資格のある職員が行い、アロマオイルを使いホットタオルで手を温めた後、ベビーオイルを塗布しながらのマッサージです。

利用者様、「あれっ。なんやら、身体が温かくなってたわ」「こい気持ちいいがにしてもるて、認知症にも効くがやと。ありがたいことや」などと、ハンドマッサージ初体験に大喜びでした。



デイサービス

田植えゲームは、30秒間



4月26日、デイサービス広場で、田植えゲームを開催しました。逆さまにした紙コップの底に開けた穴へ、苗に模したビニール紐を植えていくというもの。

ルールは30秒間で、苗を植えたコップに記されている数字の合計得点を競います。

「この苗、なかなか、入らんぞ」

「慌てとるさかい、指、いうこと聞いてくれんが」

「今は機械やけど、昔は手で植えとったがいぜ」

「そやそや。木で作った枠まわして、そこへ一本ずつ」

秋には、稲刈りゲームを行いますので、乞うご期待。

ストロー通しゲームは色も重要



5月13日、ストロー通しゲームを行いました。

紙コップと透明プラスチックコップの口部分を合わせ、紙コップの底に開けた穴へ、小さく切ったストローを通し、その本数を競うというゲーム。

本数だけではなく、後で中の見えない袋から取ったのと同じ色のストローがあると、点数は10倍に。

一か八かで、同じ色のストローだけを通す人もいれば、どの色も同じように入れようとする方も。

「色によって、点数違うがやと」

「こりゃ、大変やわ。思うように入らんもん」

まごころ善意

令和 4年 3月18日～令和 4年 5月17日
(順不同・敬称略)



寄付物品

- ・神保 史貴 ・橋本 義男 ・濱田 正幸 ・西川 信一 ・大平 和子 ・早川 久義 ・池田 和幸
- ・匿名



ご家族様へのお知らせ



新型コロナウイルス等感染症防止のため、面会は窓越しとオンライン面会になっていますが、共に予約制となっており、事前にお申し込みをいただいた上で、空き時間等のご確認をお願い致します。

また、7月に開催していました、施設を開放しての夏まつりは、今年度も中止となりますので、お知らせ致します。

五月人形

4月20日から、エレベーター前にガラス箱入りの五月人形が飾られました。

鎧兜に身を包んだ若武者が、胡床に腰掛け、左手は弓を携え、右手には采配を握りしめています。

そして、腰に黄金の太刀、背中には矢羽根。

五月人形に、気づいた入居者様。

「こんな立派な武者人形、見たがはじめてやわ。それに、いい顔しとらっしゃる」

「見とるだけで、こっちまで元気もらえるようやし、いつまでも見飽きんね」



新入職員紹介



4月1日付けで、舟見寿楽苑1階に配属されました金田淑子です。

今年、舟見寿楽苑で働くことができ、私にとつ

て記念すべき良い年になったと思っています。

介護の仕事は初めてですが、職員の人たちによる温かいサポートがあり、本当に助かっています。

これから仕事に頑張っていきますので、ご指導くださいますようよろしくお願いいたします。



4月1日から、舟見寿楽苑のデイサービスで働くことになりました、小森星奈です。

これまで大学で学び、

身につけてきた知識を生かしながら、職務に励んでいきたいと思っています。一日も早く仕事を覚え、ご利用して下さっている皆様が笑顔になれるよう、一生懸命頑張ってまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

編集後記

散歩へ出かけたときのこと、田んぼを見ながら、「昔、田植えが終わったら、野上がりいうて、温泉へ行ったら覚えとるわ」と私。すると家人が、「それだけ働いとった証拠で、今の人の何倍も体使とったろ。あの頃は田植え機なんてなかったし、なんでも手作業でやとったから、疲れる度合いが全然違とったもん」。

そのとき、橙色の太陽がちょうど地平線へ沈みかけており、思わず手を合わせ「太陽が、朝昇ると、夕方沈むの見たら、どうして手を合わせてしまうがかね」。それを耳にした家人、「お日様が、ちゃんと顔出してくれんと、稲は育たんし、人間も生きていかれんやろ。そのこと、体が自然に分かるとるからやと思うよ」。

汗水たらし懸命に働いていた昔の人に比べると、まるで遊んでいるのと同じなのに、頭にあるのはサボることばかり。汗を流して働ける幸せと、万物へ感謝の気持ちを忘れずにいたか、胸に手を当てて。